

# 国立大学法人等の科学技術関係活動に関する調査結果概要(平成19事業年度)

平成20年10月31日

内閣府(科学技術政策・イノベーション担当)

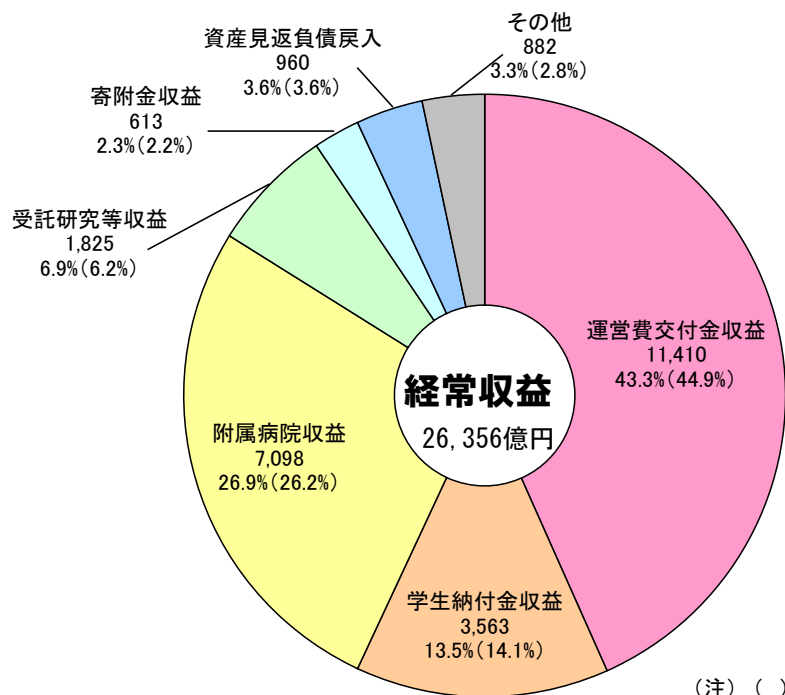
# 1. 国立大学法人等の全体像 (1) 収入・支出

## ■ 平成19年度の経常収益は26,356億円

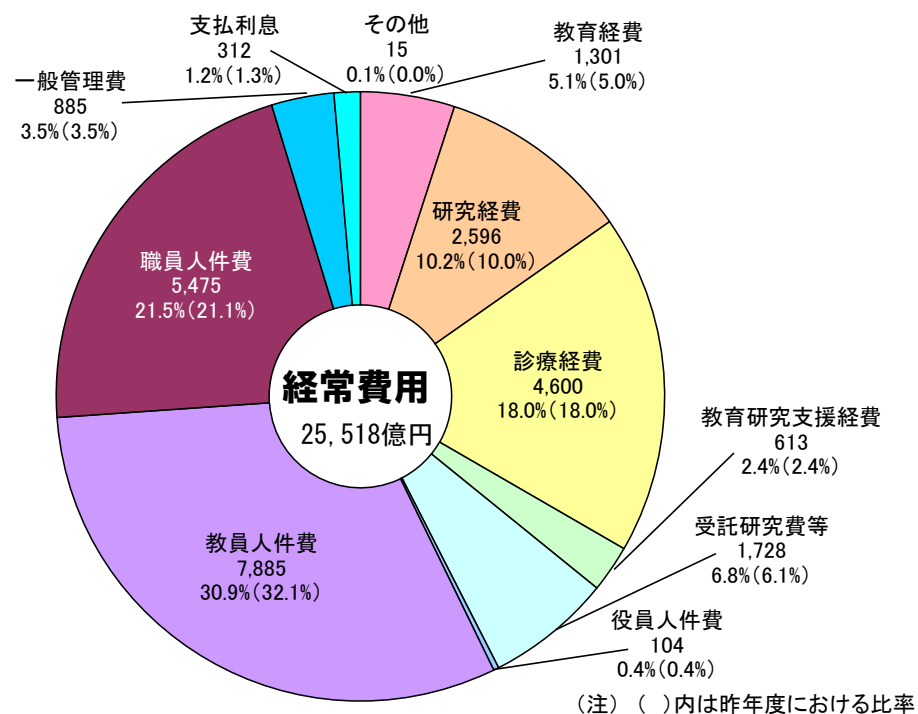
□ 運営費交付金収益、学生納付金収益が減る中で、附属病院収益、受託研究等収益、寄附金収益が減少分を補う

## ■ 平成19年度の経常費用は25,518億円

□ 研究経費がわずかながら増加する一方、教員人件費の構成比は32.1%から30.9%に減少



(注) ( )内は昨年度における比率



(注) ( )内は昨年度における比率

## 1. 国立大学法人等の全体像 (2) 教職員構成

### ■ 教職員構成では職員数が増加

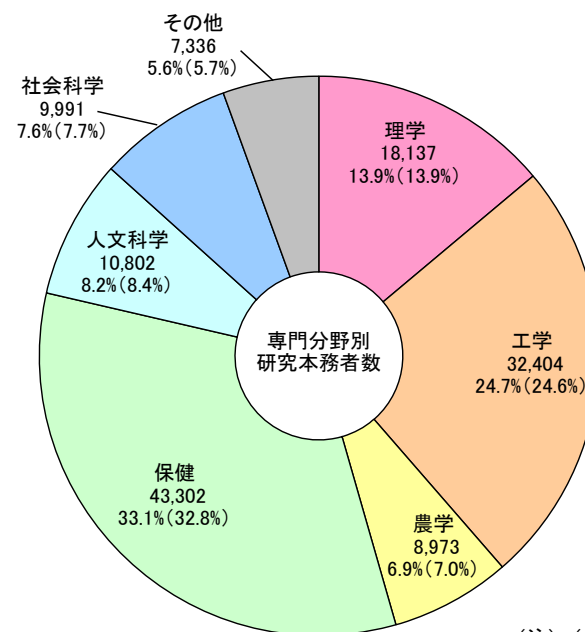
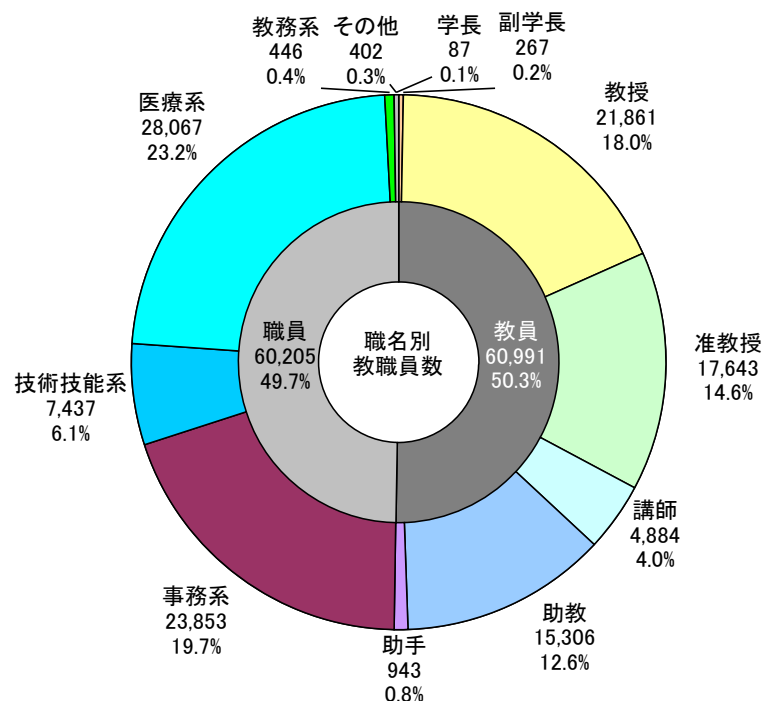
- 国立大学法人の教職員数および構成比を見ると、本務教職員数12万1,196人(前年度11万8,160人)のうち、教員が6万0,991人、50.3%(前年度60,712人、51.4%)、職員が6万0,205人、49.7%(前年度57,448人、48.6%)

### ■ 職名別教職員構成のうち、職員では医療系職員の割合が増加

- 国立大学法人の教員構成を見ると、学長0.1%(前年度0.1%)、副学長0.2%(0.2%)、教授18.0%(18.6%)、准教授14.6%(14.9%)、講師4.0%(4.1%)、助教12.6%、助手0.8%(前年度、旧助手13.6%)。職員構成を見ると、職員では、医療系23.2%(前年度20.7%)、技術技能系6.1%(6.5%)、事務系19.7%(20.5%)

### ■ 専門分野別では保健分野の研究本務者の割合が増加

- 平成19年3月での国立大学法人の専門分野別研究本務者の構成を見ると、理学13.9%(前年3月13.9%)、工学24.7%(24.6%)、農学6.9%(7.0%)、保健33.1%(32.8%)、人文科学8.2%(8.4%)、社会科学7.6%(7.7%)、その他5.6%(5.7%)



(注) ( )内は昨年度における比率

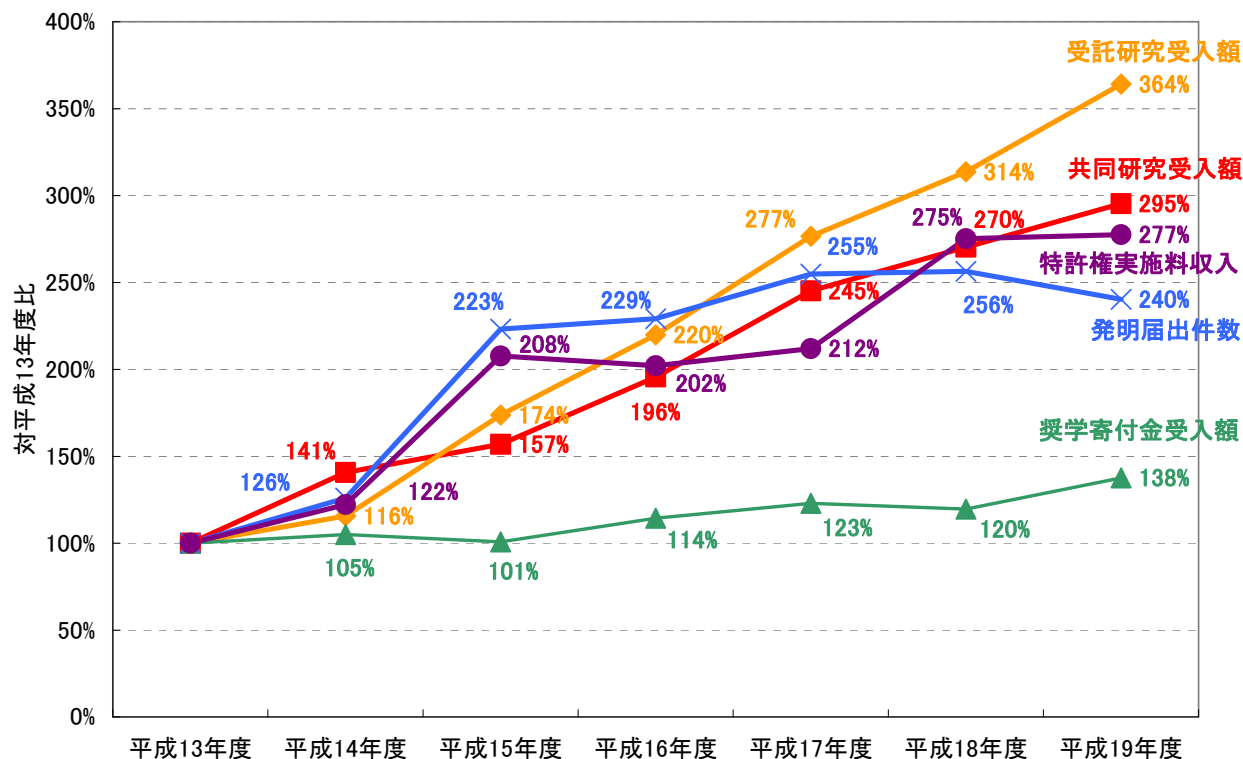
## 2. 主な指標項目ごとの状況 (1) 産学官連携

■ 国立大学等は、法人化を契機に、また、そのメリットを活かし、自主的・自律的に様々な工夫・改善。特に、産学官連携等を積極的に推進。

- 共同研究・受託研究の拡大: 受入件数、受入額共に年々増加
- 知的財産活動の活発化: ただし平成18年度以降横ばい傾向
- 大学発ベンチャーの増加: 大学発ベンチャーは年々増加

### 産学官連携等の推移

共同研究・受託研究の拡大		
	(平成13年)	(平成19年)
共同研究受入件数	5,264件	→ 13,654件
共同研究受入額	112億円	→ 331億円
受託研究受入件数	5,701件	→ 10,584件
受託研究受入額	351億円	→ 1,279億円
知的財産活動の活発化		
	(平成13年)	(平成19年)
発明届出件数	3,040件	→ 7,304件
特許権実施料収入	2.1億円	→ 5.7億円
大学発ベンチャーの増加		
	(平成15年)	(平成19年)
大学発ベンチャー数	683社	→ 1,214社



平成13年度を100%としたときの諸指標の伸び

(出典) 文部科学省による

## 2. 主な指標項目ごとの状況 (2) 人材

### 人材の流動性

#### ■ 人材の流動性の向上を図る任期制が着実に拡大

□ 平成17年度8,453人(13.9%)→平成18年度8,816人(14.5%)

□ 職種別では、平成18年度において教授8.4%(前年度7.8%)、助教授10.1%(9.0%)、講師20.0%(24.8%)、助手26.4%(24.7%)

#### ■ 人材の流動性の向上を図るその他の取組も進展

□ プロジェクト等のための教員雇用形態の創設、助教をすべて任期制にするなどの取組、有期雇用の場合に年俸制を導入し退職手当相当額を加味する取組等

### 多様な人材の活躍－若手－

#### ■ 若手教員の数・全教員に占める割合はほとんど変化なし

□ 若手教員(37歳以下の教員)は平成18年5月現在 13,474人(21.7%)→平成19年5月現在 13,519人(21.7%)

#### ■ 若手研究者の採用・育成のための取組は進展

□ 学長裁量経費による若手研究者を対象とした研究助成、表彰や海外派遣、サバティカル制度、スペースの確保等

### 多様な人材の活躍－外国人－

#### ■ 外国からの受入研究者数、外国人教員の数はともに微増

□ 外国からの受入れ研究者数：平成17年度 23,537人→平成18年度 24,494人

□ 外国人教員：平成18年度 1,503人→平成19年度 1,579人

## 2. 主な指標項目ごとの状況 (2) 人材

### 多様な人材の活躍－女性－

#### ■ 女性教員の数・割合は増加

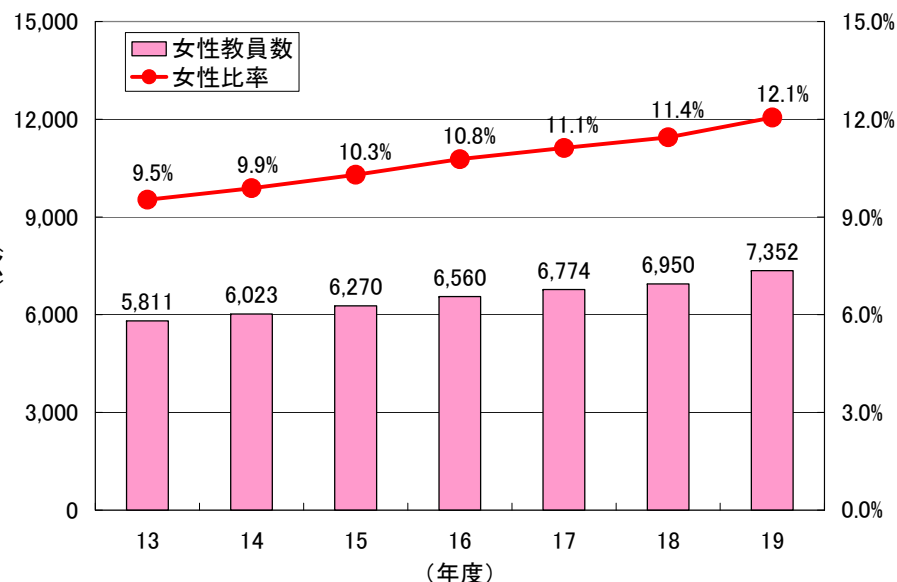
□ 平成18年度6,950人(11.4%)→平成19年度7,352人(12.1%)

#### ■ 職種別では、上位者の割合が低い。

□ 職務内毎に見た女性比率は、平成19年度、学長2.3%(前年度、2.3%)、副学長1.9%(2.0%)、教授6.8%(6.6%)、准教授12.1%(11.5%)、講師18.0%(16.9%)、助教15.6%、助手47.9%(前年度、旧助手16.6%)

#### ■ 女性研究者の採用への配慮は進展

- 男女共同参画担当副学長の設置、担当室や推進本部の設置、学内保育施設の設置・運営、出産等に伴う休暇制度の拡大等
- 女性教員の割合や採用の数値目標を設定している国立大学等は、平成19年度23.1%→平成20年度32.2%



女性教員数およびその全教員に占める割合の推移

(出典) 文部科学省による

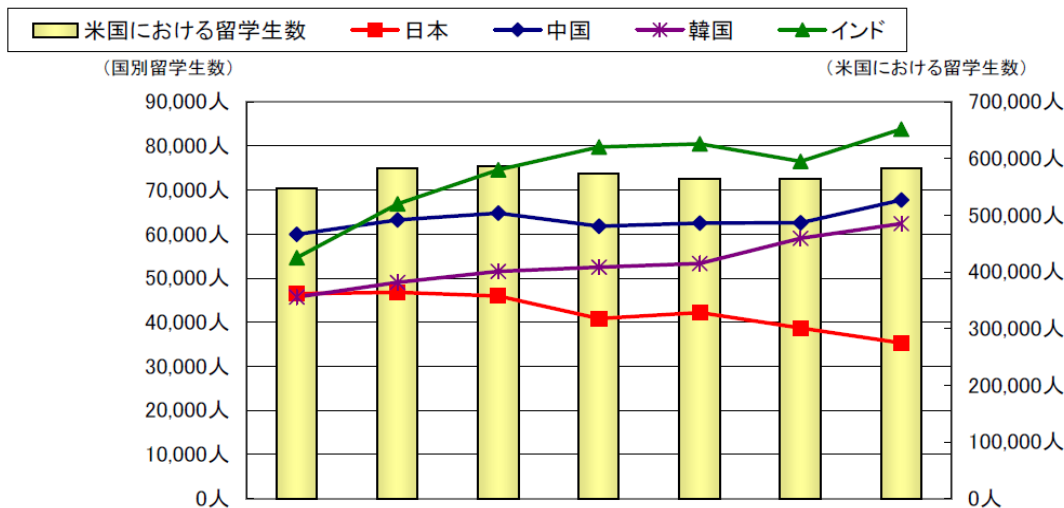
		法人名	教員本務者 女性比率	
1	(1)	お茶の水女子大学	48.7%	(47.5%)
2	(3)	東京外国語大学	31.5%	(31.3%)
3	(2)	総合研究大学院大学	29.4%	(33.3%)
4	(4)	一橋大学	28.5%	(28.6%)
5	(5)	奈良女子大学	27.8%	(28.2%)
6	(7)	福岡教育大学	22.4%	(22.4%)
7	(9)	上越教育大学	20.9%	(21.1%)
8	(12)	大阪教育大学	20.0%	(18.6%)
9	(11)	京都教育大学	19.2%	(18.7%)
10	(10)	奈良教育大学	19.1%	(20.4%)

(注) ( )は平成18年度

## 2. 主な指標項目ごとの状況 (2) 人材

### 人材の国際的循環

- 米国への日本人留学生数が減少傾向
- 大学院レベルの日本人留学生の割合が少ない
- 日本におけるポストドクターの外国人比率が低い



米国への国別留学生数の推移

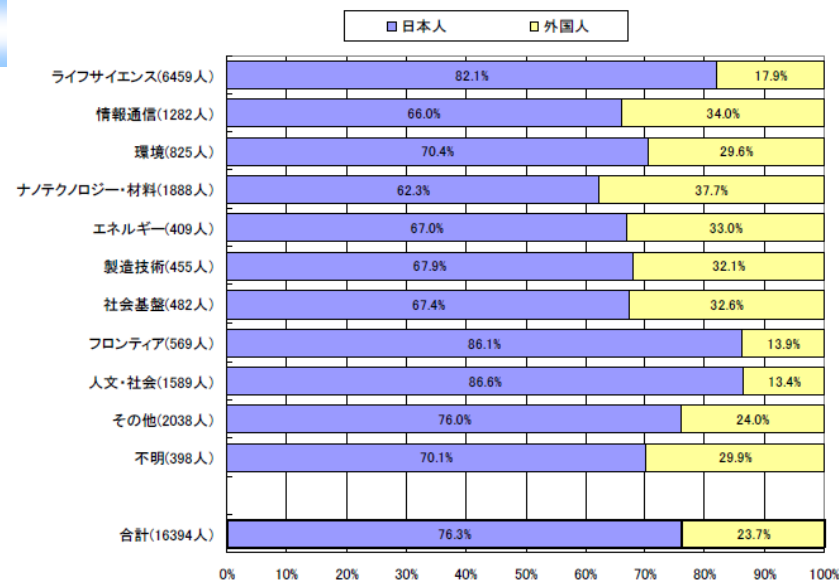
(出典) Institute of International Education "Open Doors"

米国への国別留学生数

(単位:人)

国別	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
日本	46,497	46,810	45,960	40,835	42,215	38,712	35,282
中国	59,939	63,211	64,757	61,765	62,523	62,582	67,723
韓国	45,685	49,046	51,519	52,484	53,358	59,022	62,392
インド	54,664	66,836	74,603	79,736	80,466	76,503	83,833
米国における留学生数	547,867	582,996	586,323	572,509	565,039	564,766	582,984

出典: IIE「Open Doors」Institute of International Education



ポストドクター等の分野別外国人比率(平成18年度実績)

(出典) 文部科学省「大学・公的機関等におけるポストドクター等の雇用状況調査-2006年度実績」

米国への国別・レベル別留学生数

国別	レベル	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
日本	学部	69%	67%	68%	69%	68%	64%	63.1%
	大学院	18%	21%	21%	21%	20%	21%	19.9%
	その他	13%	12%	11%	10%	12%	15%	17.1%
中国	学部	14%	14%	14%	13%	13%	15%	14.7%
	大学院	80%	80%	81%	82%	79%	76%	70.8%
	その他	6%	6%	5%	5%	8%	9%	14.4%
韓国	学部	41%	40%	42%	43%	44%	46%	45.2%
	大学院	47%	48%	48%	47%	45%	41%	38.4%
	その他	12%	12%	10%	10%	11%	13%	16.4%
インド	学部	22%	21%	19%	17%	20%	17%	15.0%
	大学院	73%	75%	78%	79%	72%	74%	71.1%
	その他	5%	4%	3%	4%	8%	9%	14.0%

出典: IIE「Open Doors」Institute of International Education